

チロリ通信！VOL.9 (2012.3)

発行元：NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ

〒410-0036 沼津市平町24-4-902

電話&FAX 055-962-3190

<http://npo-stds.com/>



1.セラピードッグ達が東日本大震災の被災地でも活躍！

国際セラピードッグ協会では、昨年の3.11 東日本大震災後、被災地へセラピードッグを導入し活動を行っています。



宮城県女川町の被災地にて



女川町避難所にて



3.11 大震災後、要介護を必要とする被災者の高齢者避難施設(宮城県女川町)にセラピードッグが初めて導入されました。被災された方々は、皆感動して涙を流し、再会を約束しました。



福島県いわき市の動物保護センターにて被災犬をレスキュー



被災地の仮設住宅にて。今後、仮設住宅の住民の孤独死、自死を防ぐためセラピードッグの導入が期待されています。

2. 「チロリとブルースマンの約束」出版記念写真展

2011年3月22日(火)～27日(日) 沼津駅前 東部地域交流プラザ・パレット 1階にて国際セラピードッグ協会・大木トオル代表の本、「チロリとブルースマンの約束」出版記念写真展を開催しました。

忘れもしない、東日本大震災のすぐ後に予定されていたイベントで、中止も考えましたが、自分たちにできることを精一杯しよう！という皆の気持ちで実行しました。計画停電の時間帯には、真っ暗になったりもしましたが、メンバーがより団結できたように思います。

たくさんの方が足を止め写真に見入る姿に、活動を続けてきて良かったと、改めて思いました。



3. 「2011三島大社だがしや楽校」に参加

8月28日(日)三嶋大社での「だがしや楽校」に参加依頼があり、動物愛護のための塗り絵コーナーと、セラピードッグの書籍や水風船ヨーヨーの販売を行うブースを出店しました。

このイベントは、三島の異業種交流会スクランブルフォーラムの主催。子どもたちに何らかの「仕事」をしてもらい、そのお駄賃として「カバゴン券」を配布、それを貯めて駄菓子に換えることで、社会の経済活動の基本を学んでもらおうというものであり、学校教育などには無い素晴らしいコンセプトのイベント。(開催4年目)

晴天の下、何千人もの小学生が集結。楽しそうに様々な「仕事」にトライ。当クラブでは、動物愛護の十戒を読んでもらい、クラブ自作絵本の「いぬになったまもるくん」のイラストに「塗り絵」をする「仕事」をしてもらいましたが、子どもたちは塗り絵大好きなので、すぐに長蛇の列に！

多くの子どもたちに「犬のきもち」＝動物愛護を理解頂けたと思います！



4. 2011 ぬまづ福祉まつり

10月15日(土)沼津中央公園にて決行予定でしたが、雨で翌日に順延。16日(日)は、前日とは打って変わって、気温が30度近くあり、真夏のようなでした。

福祉関係の団体や協賛企業などのブースが30ほど出店し、ステージでは楽しめるプログラムが盛りだくさん。多くの人で賑わいました。2011年はセラピードッグたちを招聘することはできませんでしたが、テーマとなっている「福祉ってふつうのこと」が定着し、毎年恒例の行事になってほしいと願っています。



5. 東日本大震災と同行避難の講演を聴いて【副会長 二藤清美】

昨年、一番心に強く残った事は3月11日東日本大震災です。地震と津波の恐怖を強く感じた事は今でも忘れません。私たち人間もそうでしたが、ペットとして飼われている動物たちも被災しています。震災直後は様々なボランティア団体を通して物資などの支援をさせていただきましたが、もし自分たち（ペット）が被災したらどうすればいいか？ということに意識が向きました。

11月に静岡で開催された講演「災害時、犬はどうなる？」はとても勉強になり、同時に今回の震災の悲惨さを間近に感じたものでした。講師は、日本愛玩動物協会理事の平井潤子先生。実際に東北で保護活動などされてきた報告も兼ねての講演でした。

自分のことよりもペット優先と考える飼い主さんも少なくないと思いますが、まずは自分の身を守ること！自分がしっかりしないと愛するペットの命は守れませんものね。こういう意識がとても大切だと思いました。非常時の対策もしっかり備えること。私の愛犬は迷子札はしていますが、マイクロチップも検討し始めています。

避難所では、ストレスが多くなると思います。ペットの必要最低限のしつけもとても大切です。私たちみんなの少しずつの気配りが、動物との同行避難に繋がることも痛感しました。備えあれば憂いなし！災害は起こって欲しくはないですが、何かあった時、自分（家族）とペットをしっかり守れるようでありたいと強く思いました。



6. 日本最新の370万都市・横浜市動物愛護センター！

当クラブメンバーで、2011年にオープンした政令指定都市である横浜市の動物愛護センターを訪問してきました！

今から40年前には約1万頭もの犬を保護していたのが、平成22年度には370頭まで減少。

このうち200頭は飼い主に返還、新たな里親さんへの譲渡が90頭、残りの飼養困難な80頭が殺処分となっていました。

なお、殺処分については一般的なガス室ではなく、睡眠薬による安楽死としていることも画期的。猫は、通常保健所では持ち込まれた時点で殺処分していますが横浜は里親を見つけることを推進、猫の殺処分は1000匹まで減少、静岡県も見習って欲しいと思います！

H23年5月オープン、横浜動物愛護センター



東海大地震の避難生活に備えたペットの扱い

沼津市防災計画の中では、避難および避難所生活を余儀なくされる場合のペットの取り扱いについて明確になっていません。

横浜市では、市内450箇所の避難所で同行避難を想定、避難所単位で指針を検討し、避難所で飼養できるように5000個のケージを備蓄しているとのこと。また、市内5箇所に動物救援センターも設置します。

東海大地震に備え、沼津市も対応方針を明確にすべきです！



係留は完全個室でとてもクリーン。犬も全頭キレイにされてペットショップのようでした。

センター長自ら施設概要についてご説明頂きました！

市民向の無料グルーミングルーム。ボランティア講師が教えてくれます！



7. 捨て犬・命のレスキュー記録！幸せになったワンコたち！

2011年は、計12頭の犬の新しい飼い主を見つけることができました！その中の何頭かをご紹介します。

☆捨て犬レスキュー&里親探しにかかる費用（シャンプーカット、診断・医療費、一時預かり代）はメンバーの年会費および募金によりまかなわれています。ご賛同頂ける方は是非当クラブ会員へのお申込みをお願い致します！

2011/11 愛鷹で首輪なし放浪のところを保健所が保護
★新たな飼い主は、はるばる神戸よりお問い合わせいただいたご夫婦。
(2012/1に沼津にお迎えに)
パグの特性を熟知されている、優しいご夫婦の家族になりました。



2011/10 函南町で首輪&鎖付で放浪のところ保健所が保護
★沼津市の優しい大工さんの家の家族になりました

2011/7 飼い主が高齢となり、歩くのが不自由となって散歩等出来ないために里親希望
★沼津市の家の家族になりました



2011/8 我入道にて防風林につながれ放置されているところを保護
★沼津市原にお住まいのご家族のワンコになりました。
広いお屋敷でお日様のあたるお庭でのびのび暮らしています



ご存知ですか？ 静岡県の迷い犬情報を見るには…

県ホームページ

健康福祉

衛生薬事

動物愛護

迷い犬情報

★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます！

募金箱を設置、募金回収頂いた会社、お店など

(株)ジャスコム / 阿蘭陀館 / リブテック / ペド・ノンヌ / 沼津観光協会 / わんのはな様 他

印刷協賛： 沼津印刷株式会社 沼津市大岡 1503 電話 055-951-2960